

# 小松前会長偉業伝える

## エフビコ創業者 家族ら銅像除幕

器のトップメーカーに  
育てた。16年に福山市  
名誉市民となった  
（松山慎二）

食品容器製造のエフビコ（福山市曙町）創業で、昨年5月に亡くなった市名誉市長の小松安弘前会長の銅像が完成し23日、同所の同社総合研究所で除幕式が開かれた。

市長らが除幕して銅像を披露した後、佐藤社長が「素晴らしい銅像ができた。一周忌に当たるこの日に除幕できたことを幸せに思う」と、小松前会長が「小松前会長の偉大さを受け止めながら、市民と元気に明るく頑張りたい」とあいさつした。

銅像（高さ約2・5メートル）は同社従業員や取引先関係者ら約60人が出席。佐藤守正社長や枝広直幹社長らも出席した。

引業者らの浄財を基に建立。手ぶりを交えて情熱的に話す小松前会長の姿を表現しており、2007年に文化勲章を受章した彫刻家中村晋也さん（91）が手掛けた。

小松前会長の家族をはじめ、市や同社関係者ら約60人が出席。佐藤守正社長や枝広直幹社長らも出席した。

小松前会長は井原市出身。1962年、前身の福山パール紙工（89年にエフビコに社名変更）を設立し、2005年に東証1部上場を果たすなど食品容



除幕し銅像の完成を祝う関係者